

第66回 石川県中学校剣道大会

- 1 主催** 石川県中学校体育連盟 石川県教育委員会
(一財) 石川県剣道連盟 羽咋市教育委員会
- 2 主管** 石川県中学校体育連盟剣道競技部 能登地区中学校体育連盟
羽咋市中学校体育連盟 羽咋市剣道連盟
- 3 会期** 令和5年7月16日(日) 開会式 9:00 試合開始 9:20
女子団体戦・男子個人戦
7月17日(月) 閉会式 表彰式 試合開始 9:10
男子団体戦・女子個人戦
- 4 会場** 羽咋体育館 (〒925-0026 羽咋市鶴多町亀田17番地 TEL 0767-22-3312)
- 5 競技種目** (1) 男子団体、女子団体 (2) 男子個人、女子個人
- 6 競技規則** 全日本剣道連盟「剣道試合審判規則」及び「剣道試合審判細則」及び以下の事項による。
・日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項
・主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン【暫定的な試合・審判の方法】
・「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」を受けての試合・審判に関する統一事項

7 競技方法

【団体戦】

- 8ブロックに分け予選リーグを行い、各リーグ1・2位のチームで決勝トーナメントを行う。
- 予選リーグは3分3本勝負延長なし。決勝トーナメントは3分3本勝負、延長2分1回とする。
決勝トーナメントにおいて、勝負が決しない場合代表戦を行う。代表戦は監督の指名選手とし、3分1本勝負、勝負が決しない場合は延長戦を【個人戦および団体戦代表戦での対応】により、勝敗が決するまで行う。決勝トーナメントでは団体戦の勝敗が決した後、延長戦は行わない。
- 予選リーグ順位の決し方
 - 各対戦は勝人数、本数の順で決するが、本数も同じなら引き分けとし各対戦内では代表戦を行わない。(勝点1、負0、引き分け0.5)
 - リーグ順位の決し方は勝点、勝人数、本数の順で決するが、いずれも同数の場合、代表戦を行う。
代表戦は、監督の指名選手(補員を含む)とし、3分1本勝負、勝負が決しない場合は延長戦を【個人戦および団体戦代表戦での対応】により、勝敗が決するまで行う。3すくみの場合は任意の代表者(補員を含む)による3分3本勝負、延長2分を1回行う。代表選手はそれぞれの試合で変更できる。
試合順はリーグと同様の順序とする。

【個人戦】

- トーナメント方式で行う。
- 3分3本勝負。勝負が決しない場合は延長戦を【個人戦および団体戦代表戦での対応】により、勝敗が決するまで行う。

【個人戦および団体戦代表戦での対応】

試合時間 3分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止(深呼吸をする程度)】⇒延長2分⇒延長2分⇒
【面を外しての休息・給水(3分)】⇒___を試合の続く限り繰り返す。

8 参加規定

- 1校(1地域クラブ)男女各1チームとする。
- 1チームの編成は監督1名、マネージャー1名、選手5名、補員2名以内とする。
※ 団体戦は3人以上で出場は可能である。3人の場合は次鋒と副将、4人の場合は次鋒を空ける。
- 団体① 男子は加賀・能登地区大会で出場権を得た中学校。加賀24校、能登8校を基本とする。
② 女子は加賀・能登地区大会で出場権を得た中学校。加賀26校、能登6校を基本とする。
- 個人① 男子は加賀・能登地区大会で出場権を得た選手。加賀48名、能登16名を基本とする。
② 女子は加賀・能登地区大会で出場権を得た選手。加賀48名、能登16名を基本とする。
※ 加賀・能登それぞれで出場枠数に充たない場合は、もう一方の地区の出場数を増やして補充し、団体戦32チーム、個人戦64名で実施する。
- 監督は当該校の校長・教員、または部活動指導員であること。地域クラブの場合は団体の代表者・指導者とする。監督の服装はネクタイ着用が望ましい。また、団体戦と個人戦(1日目と2日目)が別の監督でも認める。

9 参加申込

- 1) 参加校は、参加申込書と参加料を期日までに郡市中体連事務局へ提出する。監督が「部活動指導員」の場合は、参加申込書の任命権者の欄を記入して提出する。地域クラブからの参加申込については、申込書の原本を石川県中学校体育連盟事務局に直接提出（申込期日着による郵送可）とし、写しを各競技専門委員長に送付（電子媒体可）する。
- 2) 各郡市中体連事務局は、申込を取りまとめ、参加料を添えて県中体連事務局へ期日までに提出する。

10 参加料 参加登録選手1人につき1,000円とする。

11 表彰

団体は3位まで表彰。ただし、3位決定戦は行わない。個人はベスト8まで表彰する。
※ 昨年度団体・個人の第1位、第2位は賞典返還を行いますので、賞典を持参して下さい。

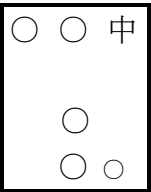
12 北信越大会・全国大会の出場について

- 1) 団体上位4チーム、個人上位8名は北信越中学校総合競技大会の出場権を得る。
- 2) 団体上位1チーム、個人1・2位入賞の選手は、全国中学校体育大会の出場権を得る。

13 全国大会に出場した団体は、大会出場報告書を提出すること(様式F-1,2または様式G-1,2)。

—— 石川県中体連剣道部申し合わせ事項 ——

- 1) 竹刀は計量検査を受けたものを使用する。不正な竹刀を使用した者は負けとし、相手に2本を与え、その試合の既得本数および既得権を認めない。又、その者は、以後の試合を継続することができない。ただし、団体戦・個人戦は別に扱い、団体戦においては決勝トーナメントより補員の補充を認める。
不正な竹刀とは： A 検査、検印のないもの。 B 異物を挿入したもの。
- 2) つばは、茶系統か白色とし、直径9cm以下の物を使用。柄の上部に固定すること。
- 3) 補欠選手の入れかえは、監督会議の前に診断書を添えて本部に申し出る。
- 4) 選手変更で退いた選手や不正で退いた選手の復帰は認めない。
- 5) 面ひもは結び目から40cm以内になること。又、面ひも、胴ひもは、華美にならないように配慮する。
- 6) 出場選手は下記の要領で布製の名札を着用する。黒または紺地に白文字とし、学校名・氏名を明記する。
- 7) 先鋒戦、大將戦は正座にて観戦させる。
- 8) 試合チームの監督のサインを禁止する。
- 9) 場内への時計類の持ち込みを禁止する。
- 10) 応援旗、激励旗を持ち込まない。
- 11) 応援は拍手のみとする。
- 12) 面乳革は、大きさ、色、模様を含めて華美にならないように配慮し、色は黒色または紺色とする。
- 13) 柄革は、滑り止め（ゴム等）や模様のない無地なもので、白色とする。
- 14) 撮影した動画や写真は、許可なくネット上にアップしない。



<剣道試合・審判規則に関わる事項>

- 1) 礼法を確実に行う。
- 2) 突き技は禁じ技とする。故意に突っかかるような突きは反則とする場合がある。
- 3) 片手技は有効としない。（ただし、身体上に障害がある場合はその都度協議する。）
- 4) 選手の足袋（市販の剣道用のもの）・サポーター・テーピングの使用は、医療上必要と判断されれば、見苦しくない範囲で可とする。
- 5) 「変形な構え等の防御態勢」をとった場合、合議のうえ1度目は指導、2度目から反則とする。
- 6) 試合・審判規則の実施に関して疑義ある場合は直ちに（その試合の礼が終わるまでに）監督が赤旗を表示し審判長（審判主任）に対して異議の申し立てができる。
- 7) その他、日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項に準ずる。

<その他>

- 1) 剣道着や袴への校名・校章等の刺繍は、大きさ・色を含めて華美にならないように配慮する。
- 2) 会場での竹刀の放置（アップ時の場所取りなど）は厳に慎む。
- 3) フロア内での飲食（水分補給など）はしない。
- 4) 団体戦のオーダー表は各団体で作成し、受付に提出する。
（模造紙1／4サイズ タテ約27cm×ヨコ約80cm）
男女の区別は一線部を男子は黒色、女子は赤色で明示する。
- 5) 大会での怪我に対する対処は、応急手当のみ行う。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ○ | 先 | 次 | 中 | 副 | 大 |
| ○ | | | | | |
| 中 | 鋒 | 鋒 | 堅 | 将 | 将 |